

入札公告

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

平成28年 5月25日

阪神高速道路株式会社

契約責任者 大阪管理局長 梅谷 貞実

1. 工事概要

- (1) 工事名 31号神戸山手線神戸長田トンネル水噴霧設備補修工事（28ー山手）（電子入札対象案件）
- (2) 工事場所 <既供用路線（神戸管理部）>
○ 31号神戸山手線 神戸長田トンネル
- (3) 工事内容 本工事は、神戸長田トンネル上下線の天井板撤去に伴いトンネル天井高変更に対応した水噴霧装置（水噴霧ヘッド・配管）への更新工事を行う。
- (4) 工期 契約締結日の翌日 から 平成29年8月10日
- (5) 工事概算数量
- ・水噴霧設備補修（上り）
 - ・水噴霧ヘッド2種 . . . 81個
 - ・水噴霧ヘッド3種 . . . 10個
 - ・水噴霧ヘッド特2種 . . . 357個
 - ・水噴霧ヘッド特3種 . . . 63個
 - ・配管工 . . . 1式
 - ・撤去工 . . . 1式
 - ・水噴霧設備補修（下り）
 - ・水噴霧ヘッド2種 . . . 26個
 - ・水噴霧ヘッド3種 . . . 18個
 - ・水噴霧ヘッド特2種 . . . 326個
 - ・水噴霧ヘッド特3種 . . . 73個
 - ・配管工 . . . 1式
 - ・撤去工 . . . 1式
- (6) 本工事は、入札情報を公告して募った参加者と指名基準に基づき指名された参加者とで競争入札を行い、落札者を決定する一般競争入札（指名併用型一般競争入札方式）の試行工事である。

- (7) 本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後 V E の対象工事である。
- (8) 本工事は、すべての入札参加者から入札価格に対応する工事費内訳書の提出を求める工事である。
- (9) 契約変更により、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年法律第 104 号）の対象工事となり、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等が義務づけられる場合がある。
- (10) 本工事は、入札を原則として電子入札システムで行う対象工事であり、阪神高速ホームページに掲載の電子入札運用基準を適用する。なお、例外的に電子入札によりがたい者は、申請書の提出時まで、同基準に基づき阪神高速の承諾を得て紙入札方式によることができる。
ただし、紙入札方式は郵送による入札のみとし、直接（持参）入札は認めない。

2. 競争参加資格

- (1) 阪神高速道路株式会社契約規則第 6 条
阪神高速道路株式会社契約規則（平成 23 年阪神高速規則第 10 号）第 6 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 競争参加資格の認定
開札時に阪神高速における「管」又は「機械器具設置」に係る平成 27・28 年度の一般競争参加資格の認定を受けていること。
なお、会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、阪神高速が別に定める手続きに基づく競争参加資格の再認定を受けていること。
- (3) 会社更生法・民事再生法
会社更生法に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者（上記（2）の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 企業の形態
単体であること。
- (5) 地域要件
地域要件は設定しない。
- (6) 施工実績
平成 13 年度以降に、元請けとして、下記に示すいずれかの施工実績（完成し引渡しが進んでいるものに限る。以下同じ。）を有すること。
ただし、阪神高速が発注した工事の場合は、工事成績評定点が 65 点未満の工事は

施工実績として認めない。また、国、地方公共団体及び公共工事の入札契約の適正化の促進に関する法律第2条第1項の政令で定める法人（以下「他の機関」という。）が発注した工事の場合は、他の機関が施工実績として認めない点数未満の工事も施工実績として認めない。

- ・道路における道路付属機械設備（軸重計測装置、通行止装置、路面排水設備、トンネル防災設備、トンネル換気設備、道路機械設備遠方監視システム、車両用昇降設備のいずれか）の施工（設置、補修、改修のいずれか）した工事
- ・道路管理用建物（料金所、営業所、パーキングエリア、道路管理事務所のいずれか）の機械設備（空気調和設備、給排水衛生設備（消火設備を含む）、昇降機設備のいずれか）の施工（設置、補修、改修のいずれか）した工事

(7) 工事成績評定点

阪神高速が発注した工事のうち、過去2年度（平成26年度及び平成27年度）に完成し引渡した工事の実績がある場合は、平成26年度及び平成27年度の工事成績評定点の平均が2年連続で65点未満でないこと。

(8) 競争参加停止措置

申請書及び資料の提出期限日から開札時までの期間に、阪神高速道路株式会社競争参加停止等取扱要領に基づく競争参加停止措置（以下「競争参加停止措置」という。）を受けていないこと。

(9) 暴力団等排除措置規則

申請書及び資料の提出期限日から開札時までの期間に、阪神高速道路株式会社暴力団等排除措置規則に基づく入札等除外措置を受けておらず、かつ、同規則別表に掲げる措置要件のいずれにも該当しないこと。

(10) 設計業務等の受託者等との関連

本工事に係る設計業務等の受託者等（受託者が設計共同体の場合は、当該設計共同体の各構成員をいう。以下同じ。）又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

(11) 入札参加者間の資本・人的関係

入札に参加しようとする者の間に、資本関係又は人的関係がないこと。（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書参照）

3. 指名の実施等に関する事項

(1) 競争参加適格者

本件工事は、平成28年3月3日に公告を行った『神戸長田トンネル水噴霧設備補修工事（28-山手）』において競争参加希望者が無く不成立となったことから、一般競争による公募に加え、競争参加者を指名することで競争入札への参加を促すことにより、調達の実確性を高めるために行う指名併用型一般競争入札である。

阪神高速における「平成 27・28 年度の競争参加資格」の有資格者のうち、指名通知日において、上記 2. (1) から (11) までに掲げる事項をすべて満たすことができる者で、本工事に対し参加意思が認められる者を競争参加資格適格者として指名する。

(2) 指名通知日 平成 28 年 5 月 24 日 (火)

(3) 指名業者数 15 者

4. 指名を受けていない者（非指名者）の競争参加

非指名者のうち次の①又は②に該当し、本工事に関する競争参加資格確認申請書及びその他確認資料（以下「申請書等」という。）を提出のうえ、契約責任者より競争参加資格があると認められ通知を受けた者は、本件競争入札に参加することができる。

① 阪神高速における「平成 27・28 年度の競争参加資格」の有資格者のうち、審査基準日（申請書等の提出期限の日をいう。以下同じ。）において、上記 2. (1) から (11) までに掲げる事項をすべて満たすことができる者。

② 阪神高速における「平成 27・28 年度の競争参加資格」の無資格者のうち、審査基準日において、上記 2. (1)、(3) 及び (5) から (11) に掲げる事項を満たすことができる者。ただし、競争に参加するためには、開札時において上記 2. (2) 及び (4) の事項を満たさなければならない。

5. 入札手続等

(1) 担当部署

〒552-0006

大阪市港区石田3丁目1番25号

阪神高速道路株式会社 大阪管理局 総務・管理部 経理課

電話 06-6576-3881 内線 4136

(2) 入札説明書等の交付期間、場所及び方法

① 交付期間：平成 28 年 5 月 26 日（木）から平成 28 年 6 月 9 日（木）までの毎日（土曜日、日曜日及び祝日を除く）、午前 10 時から午前 12 時まで、午後 1 時から午後 5 時まで。ただし、最終日は午後 4 時まで。

② 交付場所：上記（1）に同じ

③ 交付方法：無償で直接交付する

(3) 申請書及び資料の提出期間、場所及び方法

本競争の参加希望者は、次に従い、申請書及び資料を提出すること。

① 提出期間：平成 28 年 5 月 26 日（木）から平成 28 年 6 月 9 日（木）までの毎日（土曜日、日曜日及び祝日を除く）、午前 10 時から午前 12 時まで、午後 1 時から午後 4 時まで

② 提出場所：上記（１）に同じ

③ 提出方法：下記イ）及びロ）のとおり

イ） 上記１（１０）の電子入札システムによって、電子入札運用基準に定める様式４「書類の提出について」を提出するものとする。（紙入札方式の承認を得た場合は不要）

ロ） 上記イ）による提出を行うとともに、持参又は郵送によって、申請書及び資料（正１部）を提出するものとし、電送によるものは受け付けない。また、郵送による提出は、一般書留又は簡易書留によること。

なお、詳細については、入札説明書によること。

（４） 入札、開札の予定日時、場所及び入札書の提出方法

① 電子入札による入札の締め切り

平成２８年 ７月 ７日（木） 午後 ５時００分

② 紙入札方式の承認を得た場合

平成２８年 ７月 ７日（木） 午後 ５時００分必着

なお、入札書の提出方法は、一般書留又は簡易書留による郵送とし、直接（持参）入札及び電送による入札は受け付けない。郵送の宛先は上記（１）に同じ。また、阪神高速より競争参加資格があることを認めた旨の通知書の写しを、入札書を入れた中封筒と共に表封筒に入れて郵送すること。

③ 開札日時

平成２８年 ７月 ８日（金） 午前１０時００分

④ 開札の場所

阪神高速道路株式会社 大阪管理局

６．その他

（１） 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

（２） 入札保証金及び契約保証金

① 入札保証金は免除する。

② 契約保証金は納付すること。

ただし、有価証券の提供又は金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。

また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。なお、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の１０分の１以上とする。

（３） 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者が行った入札、申請書又は資料に虚偽の記

載をした者が行った入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(4) 落札者の決定方法

落札者は、指名通知がなされた者及び競争参加が認められた者の中で、決定するものとする。なお、詳細については、入札説明書による。

阪神高速道路株式会社契約規則第9条の規定に基づいて作成された契約制限価格の範囲内で最低の価格をもって有効な入札した者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがある著しく不相当と認められるときは、契約制限価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。

(5) 調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合、専任の監理技術者等の配置が義務づけられている作業において、監理技術者等及び現場代理人とは別に、技術者を配置すること（入札説明書参照。）なお、開札後、専任の技術者を追加配置できないことが判明した場合は、競争参加停止措置を行うことがある。

(6) 契約書作成の要否 要（本件は電子契約を推奨します。）

(7) 関連情報を入手するための照会窓口 上記5（1）に同じ。

(8) 企業結合確認資料についてヒアリングを実施する場合は、その実施日時及び場所等を別途通知する。

(9) 低入札価格調査を受けた者との契約に関する事項

低入札価格調査を受けた者との契約については、契約保証金の額は請負代金額の10分の3以上とするとともに、前払金の額を請負代金額の10分の1以内とする。

(10) 詳細は、入札説明書による。